有松まちづくりの会役員会　（3月24日）

5月16日の総会(絞会館 13:30～)に向けて、4月役員会までに基本方針や事業計画、役員の人事について見直しを行うことにしました。会の活動資金を得るため、絞りまつりで染織キットを販売する事が決まりました。「有松スケジュール」の見える化を図る掲示板の情報収集を、次年度からラインを使用し、絞会館や商工会・有松学区を始め、各団体や店舗などに呼びかける文書等の準備をしました。

まちの風景：MARUKIにて

第5回東海ブロックゼミ 岩村大会参加（3月1日） 於:恵那市岩村コミュニティーセンター

恵那市市長 小坂喬峰氏等の開会挨拶、全国町並み保存連盟理事長 福川裕一氏の基調講演に続き活動報告が行われた。有松まちづくりの会からも中濵豊会長始め２名が参加し近況の報告を行った。多くの団体で後継者問題や建物の修景事業が話題になっていた。休憩後はパネルディスカッション。”町並みを活かした観光"をテーマにした岩村町観光協会の報告は示唆に富む内容であった。奥深い歴史と町家の維持管理に関心が向いた。

絞り開祖並びに物故功労者慰霊祭　（3月8日）

慰霊祭が有松絞商工協同組合の成田基雄理事長はじめ組合員の方々と地元諸団体の関係者の皆さんにより営まれた。絞会館での神式、祇園寺での仏式で行われた。みぞれ交じりの天気になぞり、成田理事長からは「故人の遺徳を偲ぶと共に先人からの厳しいエールと受け止め一層精進をして参ります」と挨拶があった。

”有松･鳴海絞手括り技術” 愛知県登録文化財に登録（2月12日）

愛知県登録文化財とは、従来からの文化財指定制度を補完する制度として2023年に新たに創設された制度。技術自体が対象とされ、無形文化財(工芸技術)での登録。保持団体は有松・鳴海絞手括り技術保存会。愛知県絞工業組合が2009年から実施している技術者育成事業「絞Lab」が評価されたものです。特に縫い巻上絞・三浦絞・鹿の子絞の三技法について直接指導して、絞り技術者を長期的・組織的に育成している。技術の習得とともに独自の製品づくりにも取り組んでいる。

豊田信行氏「切り絵展」（3月3日～28日）　於:有松郵便局

切り絵作家 豊田氏の個展が開催された。緻密に制作された有松の情景17点ほどの作品からは温かみが溢れ、普段見慣れているはずの町並みの景色とひと味違う有松を感じることができた。郵便局利用者以外も多数参観。

春のありまつさんぽ道

2/22～3/23のイベント紹介

有松の古い町並みに多くの方が足を運んで下さいました。

福よせ雛と一緒に春を見つけてくださったようです。

▶ おこしもんづくり（2月17日） 於:申申居(旧庄九郎カフェ) 主催:NPO法人コンソーシアム有松

今年で7回目。すっかり有松の風物詩となっています。この地方で作られる節句菓子。熱湯でこねた米粉を木型に入れ、食紅で着色し蒸しあげて作ります。小さな子でも作業に加われる事から幼児の参加も少なくない。外の寒さがウソのような空間でほのぼのとした光景が見られていました。各回3・4組の親子が作業に親しんでおり、取材者もほっこり。

▶ ひな祭りライブ（3月2日） 於:棚橋家住宅 主催:有松町家ライブ実行委員会

今春も二胡(中村ゆみこ)と箏(杉浦充)の演奏で有松の春が始まる。棚橋家に伝わる雛に囲まれて、50名程の参加者は酔いしれていた。"春よ、来い"など馴染みの曲も多く、心温まる演奏会でした。

＊次回予告 4/13(日) チェロライブ 5/17(土) 新緑の奏:愛

6/15(日) 初夏のボサノバライブ 有松町家ライブお楽しみに！

▶ 体験型マーケット アリマツーケット （3月2日） 於:有松天満社一帯

天満社の広場や参道脇のモスアリマツには若い世代を中心に多くの方がお店めぐり。中には大河ドラマ風に"和綴じ"体験のお店も。体験できるお店が多いのが特徴のようです。

▲ レンタルスペース 有松小町にて

古着物と古道具が好きな方にはたまらないお店"市文"が３月1日だけ ここで開店。展示の着物に目を止める人も…

▲ ギャラリー＆珈琲屋台 六弦とコットンにて

緑区出身の木工作家榊原史也氏の展示販売会が開催されていた。小物入れのオーバルボックスが入口の珈琲屋台と妙に合う。落ち着く。(展示販売3/1-2,8-9)

有松まちなみ美術館（3月14日～16日） ※下記以外に有松郵便局での豊田信行氏切り絵展あり:1P

NPO法人コンソーシアム有松会員作品展 （写真左:旧山田薬局 右:申申居）

会員の作品(ドレスや帽子)が展示され、作家による作品説明もされていた。ドレス:**伊藤陽子**/帽子:**伊藤多香子**/衣装:**久野剛資**

申申居には圧巻の**竹田耕三**氏作品が展示。

金城学院大学作品展(ATSUMARI)

大学の研修として行われた実習での作品。指導は久野剛資氏。

有松絞親子体験教室制作作品・東陵中藝術文化探求部作品展示

(川村家東蔵)

制作したTシャツやバック等を展示。素晴らしい出来映え。

有松史料調査保存会発表会　（3月13日～16日） 於:棚橋家住宅 主催:桜花学園観光総合研究所

第4回の展示内容は、有松絞りを中心とした有松の文化・伝統を今に伝える物。昨年廃業された"近喜"が保管してきた昭和時代の絞り反物や為三郎記念館で展示されてきた竹田耕三コレクションが人目を惹いていた。他に有松絞りに関する古文書や大典絞など多岐に渡り昭和時代の秀作が展示。展示説明にあたる保存会の北川洋三さんは「昭和100年の今年、この間の思い出写真はオススメ」と。東京オリンピックやきんさんぎんさんの写真を懐かしんで見ている方もいた。この発表会で素晴らしいのは展示説明が丁寧でよく勉強されていること。日頃の充実した保存会の活動が偲ばれる。

福よせ雛散策会に向けて　（3月18日）

3月23日散策会本番に向けて、今年の福よせ雛の特徴を学ぶ勉強会が行われた。写真は六弦とコットン。店主お手製のギターの完成度がすごい。このようなエピソードを取材して町並み案内に活かすために行うとのこと。地域の皆さんのご協力で"春のありまつさんぽ道"のイベントが続けられていることがよく分かった。

有松天満社春季大祭（3月16日）

講員や関係者の皆さんの願いが通じたのか、雨予報がくもりに…多くの参拝者が社殿を訪れ手を合わせていた。嬉しいことに若い方が目に付く。自分の書道作品を見に来た東ヶ丘小5年生3人組、初の巫女役で緊張気味の子、天狗さんに頭をなでてもらっている子など様々…中でも目を引いたのは”奉納習字”。学問と書道の神様、天神様にお似合いの企画。次々新企画を生み出文嶺講のエネルギーに圧倒される一日であった。

右写真は新作の絵馬。授与品購入しましたか

話題 「御朱印いかがですか？」

有松天満社にとって今年は特別な年である。八棟造の立派な社殿が構えられたのは**文政7年(1824)**であり、200年を超えた。これを記念して①のような御朱印が作られた。多くの人の手に渡ることを願う。

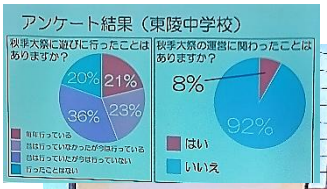
また、中町唐子車は内海の東端から**明治8年(1875)**に譲渡されてから150年の節目の年である。一昨年の西町神功皇后車が明治6年(1873)制作から150年を記念して御朱印が作られたことは記憶に新しい。それに引き続いて②のような御朱印も作られた。なお、東町布袋車が玉屋町から譲られたのは明治24年(1891)。150年の御朱印はまだ先です。

①

②

まつり未来会議（1月17日)於:山車会館

西山莉央・松本恵里・木田唯月



名東高校国際英語科の2年生3人が、この1年"日本の祭を守る"をテーマに有松で秋季大祭に参加されたり、文嶺講へのインタビューや中学生へのアンケート調査をされたりしました。その活動の報告会が参加者約30人を前に行われました。「地元の中学生にもっと祭に参加してほしい」との3人の思いが直球で伝わってきました。また、参加された小中学生の積極的な質問も印象に残りました。

有松あないびとの会　無料町並み案内始まる　（3月2日）

有松のまちの魅力をより多くの方に伝えたいと、今月から無料の案内が始まった。様子を撮影に伺うと、和気あいあいの雰囲気がいい。案内の石橋幸司さんは「元職場の知り合いが来てくれ、町の隅々までたっぷり案内できた」と。参加者だけでなく案内する側にも得るものが多いようです。

無料町並み案内 毎月第1日曜日 13:00～ 受付は岡家住宅

東海TVスイッチ **寿限無茶屋** 紹介（3月10日）

高井一アナがグルメサラリーマン篠田直樹氏を伴って訪れた。「馴染みのうどん屋さんで季節毎考えたメニューが出される」と高井アナ。2人が食べたのは"肉厚かきうどん"。食後描かれたイラストが右。この様子が放映されていた。

番組でも紹介されていたが、建物自体が貴重。明治期1875年と1899年建造。40年ほど前に改造して飲食店になった。ところでこの趣ある建物では2017年から年に2回ほど落語会が行われてきた。ご存知かな？

次回の予定　　4月6日(日)15:00～　上方落語　桂九雀　独演会

店主の服部明治さんの有松小学校での同窓生。ご希望の方はお店へ。

クアオルト有松研修会（2月13日･3月7日･13日）

緑区役所では昨年度からクアオルト健康ウオーキングの普及に力を入れている。大高地域に続き本年度は有松と鳴海でコース設定が行われた。有松地域では、日本遺産に認定された町並みと有松天満社を、また細根山オアシスの森の起伏に富んだ竹林を歩き、実践指導者ガイドの研修会が行われた。「竹林はいいですね。竹のぶつかり合う音も…」と好意的な感想と共に、3月22日の本番に向けて気を引き締めていた。

同実行委員会

催事･行事予定

4月中旬～5月初旬　絞り鯉のぼり展示　有松東海道一帯
4月21日(月)　18:00　有松町並み相談会　コミセン
4月27日(日)　7:30　かえで道清掃　有松まちづくりの会
4月28日(月)　18:30　有松まちづくりの会役員会　コミセン

発行者　中濱　豊(有松まちづくりの会　会長)
編集者　加藤明美(有松まちづくりの会　広報部長)
pegasusb@mc.ccnw.ne.jp　取材･撮影　伊藤総俊

有松まちづくりの会はホームページを公開しています。「有松のまち」で検索。

有松のまちの魅力を発信するために
あなたの力が必要です！

《編集後記》　名東高校生の実践に注目したい。自ら気付き、現状の改善に一歩踏み出していることに…山車まつりなど有松の文化の継承を模索する地元に"気づき"を与えてくれた。